

船舶事故調査報告書

平成28年8月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成28年3月9日 07時30分ごろ
発生場所	福井県敦賀市敦賀港第1区 敦賀港金ヶ崎防波堤灯台から真方位055°760m付近 （概位 北緯35°40.1′ 東経136°03.9′）
事故の概要	コンテナ船 ^{ヘウンアウルサン} HEUNG-A ULSANは、着岸作業中、岸壁に衝突した。 HEUNG-A ULSAN は、球状船首部に凹損を生じ、また、岸壁は、コンクリート等に破損を生じた。
事故調査の経過	平成28年3月15日、調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	コンテナ船 HEUNG-A ULSAN、4,914トン 9128996（IMO番号）、HEUNG-A SHIPPING CO.,LTD.
乗組員等に関する情報	船長（大韓民国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	本船 球状船首部に凹損 岸壁 コンクリート及び防舷材に破損
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北西、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、荷役の目的で、敦賀港第1区 ^{まりやま} 鞠山南A岸壁（以下「本件岸壁」という。）に、右舷着けするように接近した。 本船は、船長が、平成28年3月9日07時26分ごろ機関を停止して左舵を取り、船首が東を向いて、本件岸壁まで約90mとなった07時29分ごろいつものように全速力後進を発令したものの、球状船首部が本件岸壁に衝突した。 船長は、予想よりも風が強かったが、前進行きあしと本件岸壁までの距離についての判断を誤り、機関の後進を発令するのが遅かったと本事故後に思った。
分析	本船は、風力4の北北西風が吹く状況下、船長が、いつものように機関の後進を発令したものの、風の影響を適切に考慮していなかったことから、球状船首部が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、風力4の北北西風が吹く状況下、船長が、いつものように機関の後進を発令したものの、風の影響を適切に考慮していなかったため、本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

	<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none">・強風下の着岸作業では、風圧力の影響を十分に考慮して操船すること。
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------